



## 家電製品： ボッシュがシーメンスから BSH Bosch und Siemens Hausgeräte GmbH の未保有株を取得 関係官庁が認可

2015 年 1 月 5 日

PI 8776 RB Lo

- ▶ 社名を BSH Hausgeräte GmbH に改称予定
- ▶ 今後 BSH は大きく独立した経営を確保
- ▶ 建物と家電製品をネットワーク化していく分野でビジネス拡大

シュトゥットガルト、ミュンヘン – 関係官庁の認可を経て、ボッシュ・グループは 2015 年 1 月 5 日に、シーメンスが保有していた残り 50% の BSH Bosch und Siemens Hausgeräte GmbH (BSH) の株式を取得しました。これにより、ボッシュとシーメンスの折半出資合弁会社だった同社は、ボッシュの 100% 出資子会社となりました。2013 年の売上高が約 105 億ユーロに達し、約 5 万人の従業員を擁する BSH は、商業登記簿に記載されたのち、社名が BSH Hausgeräte GmbH に切り替わる予定です。

ボッシュは BSH を完全に傘下に収めることで、建物と家電製品をネットワーク化していく分野でビジネスを拡大しようとしています。家電製品は今後、スマート ホーム コンセプトの一部として、いっそう使いやすく、エネルギー効率が改善し、さらに利便性も向上します。例えば、BSH が開発した「ホーム コネクト」アプリを使えば、ユーザーは自分のスマートフォンやタブレット端末を使用して、Wi-Fi 経由でネットワーク化された家電製品を操作できるようになります。BSH はホーム コネクト対応の家電製品として、オーブンと食洗機をすでに発表しており、これ以外の製品も続々と登場する予定です。

今後も BSH を率いるカールステン・オッテンベルクはこう述べています。「当社の戦略目標は、コネクテッド ワールドのためのソリューションを作り上げることです」。同社は今後、ボッシュ・グループから大きく独立した経営を確保する予定です。「私たちは、BSH の戦略を全面的に支持し、その価値を重視してくれるボッシュという親会社を得たことになり」と、オッテンベルクは述べます。家電製品分野で世界屈指のリーディングカンパニーである BSH は、グローバル市場においてより勢力を伸ばし、特にヨーロッパ以外の地域でマーケット シェアをさらに獲得していきたいと考えており、2025 年までに売上高を倍増させることを目指しています。オッテンベルクは、この実現のため研究開発と BSH ブランドへの投資にさらに力を入れていきます。



BSHの全株式を取得したことで、ボッシュは自動車以外の事業を拡充したことになります。また、BSHの消費財事業が完全に連結決算の対象となるため、この事業セクターは今後、ボッシュの売上高の約4分の1を占めることになります。ボッシュの自動車以外の分野の売上高をすべて合わせると、全体で40%を超える見込みで、売上高の約半分を自動車以外の事業から獲得するという目標への大きな一歩となります。

**報道関係対応窓口:**

René Ziegler

電話: +49 711 811-7639

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2013年の従業員数は約281,000人、売上高は461億ユーロを計上しています(注: 会計方針の変更のため、今回公表する2013年のデータと昨年発表した2012年データは、限定的な範囲での比較)。事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社約360社、世界約50カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売のグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤です。

ボッシュは2013年に約45億ユーロもの金額を研究開発に投資しました。さらに全世界では5,000件以上の国際特許の基礎特許(第一国出願)を出願しています(1日あたり平均20件の出願数)。私たちは革新的で有益なソリューションを提供し、そのすべての製品とサービスを通して、人々を魅了し、人々の生活の質を向上させることを目的にしています。この方針に基づき、ボッシュは全世界において人と社会に役立つ革新のテクノロジーを提供し続けていきます。それこそが「Invented for life」です。

ボッシュの起源は、1886年に創業者ロバート・ボッシュ(1861~1942)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの財務上の独立性と企業としての自立性を保証するものです。「株主(利益配当)」と「経営(議決権)」が完全に分離した企業形態によって、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式の大半は非営利組織である公益法人「ロバート・ボッシュ財団」(持株比率92%、議決権なし)が保有しています。議決権の大部分は株主の事業機能実行機関である共同経営者会「ロバート・ボッシュ工業信託合資会社」が保有しています。残りの株式と議決権は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は [www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英文)  
[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス(英文)、ツイッター  
<http://twitter.com/BoschPresse> を参照してください。